

第3章 国民健康保険の医療に要する費用及び財政の見通し

2 財政収支の改善に係る基本的な考え方と取組等

指標		基準値※R5	評価	評価基準
1	赤字削減・解消計画策定対象市町村数	18		
	（うち、継続して取組中の市町村数）	-		
	（うち、新規に取組を開始した市町村数）	-		
2	赤字解消市町村数	-		
3	単年度収支黒字市町村数	-	最終	赤字が削減されているか
4	累積収支黒字市町村数	-		
5	県全体の赤字額	95.3億円		
	（うち、決算補填等目的の一般会計繰入金の合計額）	-		
	（うち、繰上充用金の合計額）	-		
（目指すべき姿） 国民健康保険は一般会計年度単位で行う短期保険であり、当該年度の国保特別会計の収支を均衡させる				

第4章 標準的な保険料及び国民健康保険事業費納付金の算定方法

3 標準的な保険料（税）算定方法

指標		基準値※R5	評価	評価基準
6	賦課方式が三方式の市町村数	17		
7	医療費指数反映係数 α	1		
（目指すべき姿） 将来的な保険料水準の統一				

第5章 保険料(税)の徴収の適正な実施

2 保険料（税）の収納対策

指標		基準値※R5	評価	評価基準
8	口座振替利用世帯数の割合（県全体）	21.61%		
9	滞納世帯割合	12.61%		
10	収納率（現年度分）が前年度実績と比較して向上した市町村数	24		
11	運営方針に定める収納率目標を達成した市町村数	36	最終	滞納世帯割合が減少しているか 翌年度の繰越額を縮減し適切な債権管理を行えているか
12	現年度分収納率（県平均）	94.76%		
13	滞納繰越分収納率（県平均）	21.16%		
（目指すべき姿） 保険料（税）の現年度分を早期に収納し、翌年度への繰越額を縮減するとともに、滞納繰越分の解消に努め、適切な債権管理を行う				

沖縄県国保運営方針（第3期）に係る成果指標一覧

第6章 保険給付の適正な実施

1 レセプト点検の充実強化

指標		基準値※R5	評価	評価基準
14	レセプト点検の一人当たり財政効果額	3,880円		
15	レセプト点検の財政効果率	1.22%		

2 第三者行為求償事務の取組強化

指標		基準値※R5	評価	評価基準
16	被保険者による傷病届の早期の提出割合	20.2%		
17	保険者による勧奨の取組効果	43.9%		
18	保険者における傷病届受理日までの平均日数	106.9日		
19	レセプトへの「10. 第三」の記載率	44.9%		
20	交通事故にかかる第三者行為求償実績 (調定件数・金額)	120件 70,494千円		
(目指すべき姿) 保険事故に関係する第三者との過失割合の交渉、認定など求償金額の確定、事故調査や債権管理等を含む専門的な知識を要するため、人材や実施体制の強化を行い、保険給付に係る負担の公平性の確保と保険財政の健全化等を図る				

5 県による保険給付の点検、不正請求への対応等

指標		基準値※R5	評価	評価基準
21	再審査請求事案につながった件数	47件		

指標		基準値※R5	評価	評価基準
(目指すべき姿) 定期的な指導・助言やレセプト点検の充実・強化等により保険給付の実務が法令に基づく統一的なルールに従って確実に行われ、必要な者に必要な給付が着実になされている				

6 資格の適用適正化と過誤調整等の取組

指標		基準値※R5	評価	評価基準
22	所得未申告世帯数の割合が減少した市町村数	15市町村		
(目指すべき姿) 居所不明者の資格喪失確認処理や所得未申告世帯への申告勧奨、年金情報の活用等により、資格管理や保険税(料)の賦課が適正に行われている				

沖縄県国保運営方針（第3期）に係る成果指標一覧

第7章 医療費の適正化の取組

1 特定健康診査・特定保健指導の実施

指標		基準値※R5	評価	評価基準
23	第四期沖縄県医療費適正化計画で定める特定健診の目標受診率（60%）を達成している市町村数	6		
24	特定健診の県平均受診率	35.8%		
25	特定健診受診率が県平均を上回っている市町村数	-		
26	第四期沖縄県医療費適正化計画で定める特定保健指導の目標実施率（60%）を達成している市町村数	31	特定保健指導の実施率が向上しているか	
27	特定保健指導の県平均実施率	67.2%		
28	特定保健指導実施率が県平均を上回っている市町村数	-		
29	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合（県平均）	40.6%（R4年度）		メタボリックシンドローム該当者及び予備軍が減少しているか

2 生活習慣病の発症予防・重症化予防

指標		基準値※R4	評価	評価基準
30	糖尿病性腎症による新規透析導入患者数	170人		

4 後発医薬品の使用促進

指標		基準値※R5	評価	評価基準
31	後発医薬品の目標使用割合（数量ベース86%）を達成している市町村数	-		
32	後発医薬品の使用割合（県平均）	89.7%		

指標		基準値※R4	評価	評価基準
33	沖縄県医療費	1,388.1億円		
34	一人当たり医療費	358,503円		
35	医療費の地域差指数	1.057（R3年度）		
（目指すべき姿） 予防・健康づくりによって県民の生活の質を確保・向上させ、良質かつ適切な医療を効率的に提供することにより、誰もが必要な時に、必要な医療サービスを受けられるよう、医療費の伸びの適正化を目指す				

第8章 市町村が担う事務の広域的及び効率的な運営の推進

1 市町村が担う事務の標準化等の推進

指標		基準値※R5	評価	評価基準
36	保険者事務の標準化の実施数（統一）	8		
（目指すべき姿） ・県内統一の標準的な基準の整備等によるサービスの均質化、均一化 ・事務処理の広域化・集約化・共同化による効率化				

沖縄県国保運営方針（第3期）に係る成果指標一覧

第9章 保健医療サービス・福祉サービス等に関する施策との連携

2 がん検診及び歯科健診との連携

指標		基準値※R5	評価	評価基準
37	がん検診受診率（県平均）	（R4年度） 胃がん：7.2% 肺がん：7.3% 大腸がん：6.6% 子宮頸がん：13.2% 乳がん：12.5%	中間	関係部局との連携により、がん検診の受診率が向上しているか
38	歯科健診受診率	3.31%		関係部局との連携により、歯科健診の受診率が向上しているか
<p>（目指すべき姿） 後期高齢者医療制度、介護保険制度及び健康増進施策と連携し、関連計画と整合性を図った上で各種施策に取り組むことで、国民健康保険事業の実効力が高い状況にある</p>				